

平成 26 年 8 月 5 日

沖縄県保健医療部部長
仲本 朝久殿

沖縄県がん診療連携協議会議長
琉球大学医学部附属病院長
國吉 幸男

地域の療養情報「おきなわがんサポートハンドブック」の継続的な改訂版発行に関する要望書

平素より沖縄県のがん診療の充実発展に御尽力いただき感謝申し上げます。

さて、これまで沖縄県、沖縄県がん診療連携協議会相談支援部会及び琉球大学附属病院がんセンターの三者で、地域の療養情報「おきなわがんサポートハンドブック」（以下、ハンドブック）を毎年発行し、改定を行ってまいりました。当ハンドブックは、毎年 2 万部発行され、沖縄県内のがん患者とその家族に無料配布されております。

ハンドブックには沖縄県内のがんに関する様々な情報が掲載されており、がん患者さんとそのご家族にとって、なくてはならない情報源となっていると自負しております。特に金銭面での補助制度や、患者会等の情報は、毎年大きく変更になるため、単なる増刷では正確な情報が伝えられなくなる可能性があります。

更に、『第 2 次沖縄県がん対策推進計画』（Ⅲ対策 4 分野別対策と達成目標（4）がん医療対策⑥がん患者等関係者への支援イ情報提供体制）において、「達成目標（指標項目）；がんサポートハンドブックの更新（毎年 1 回）」と明記されております。

つきましては、昨年度並みの予算を計上し、昨年度と同様に琉球大学への委託事業としてこの改訂版発行を継続できますよう、沖縄県知事に対してご説明の上、御要望いただきますようお願い申し上げます。

<参 考>

1. これまでの経緯

第 1 期「がん対策推進基本計画」（平成 19 年 6 月策定）にて、その作成等が定められたのがきっかけで、患者必携 3 部作（1）がんになったら手にとるガイド、（2）私の療養手帳、（3）地域の療養情報が発行されました。「おきなわがんサポートハンドブック」第 1 版は、本邦で初の「地域の療養情報」です。また、第 2 版と第 3 版は、他の都道府県での地域の療養情報発行の際には参考文献や出典元として広く活用されております。

特に第 3 版は、平成 25 年 6 月に開催された厚生労働省健康局主催の第 2 回がん診療提供体制のあり方に関するワーキンググループでは、厚生労働省より都道府県がん診療連携拠点病院の好事例 4 つの一つとして紹介されています。

2. 平成 25 年度事業名：がん医療連携体制推進事業委託

（地域の療養情報おきなわがんサポートハンドブック作成事業）

契約額：4,000,000 円